

科目名	憲法 I	
担当者	長谷川 史明 / HASEGAWA, Fumiaki	
科目情報	法律 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	憲法 I・II では、憲法の原理的理解と日本国憲法の総合的理解を連動させながら、憲法について多角的にアプローチする。憲法 I では、西洋立憲主義の形成過程及び日本国憲法制定に至る歴史的経緯を概観し、憲法 (constitution) の原義及び立憲的国家統治体制の本質について考察する。
	到達目標	① constitutionの規範的次元と事實的次元について理解する ② 西洋立憲主義及び法の支配の考え方について理解する ③ 日本における憲法のあゆみについて理解を深め、今後の在り方を考察する
授業計画	(1) この講義の概要説明 (2) 規範と事実 (法を扱う視点) (3) 「法」の意義 (人為的ルール、絶対的掟、自生的慣習法) (4) 西洋立憲主義と法の支配 (5) constitutionについて (6) 近代憲法の成立 (7) 日本における近代憲法の受容 (大日本帝国憲法の意義) (8) 日本国憲法の制定過程 (9) マッカーサー草案 (10) 日本国憲法の制定過程 (まとめ) (11) 憲法学習について (12) 日本の統治機構の在り方について (13) 日本における国民の基本権の在り方について (14) 憲法と国家・国民 (これからの日本と世界を考えるために) (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	※事前・事後学習としては、1回の講義につき、約4時間読書することを標準とします (目安としては、15回の講義期間内に、新書版の本を10冊程度読了する)。 詳細は講義時間に説明します。
使用教材・参考文献	【教】 西 修『図説 日本国憲法の誕生 (ふくろうの本/日本の歴史)』 (河出書房新社、2012年) ISBN-13:978-4309761886 【参】 そのほかのものは、講義時間中に指示・紹介する。	
成績評価方法と基準	試験、講義時間中に行う小テスト、提出物等を総合的に勘案して評価する。講義で説明した内容を、適切にまとめて表現できるかどうかを評価の基準とする。評価方法及び評価基準の詳細は、講義において説明する。	
備考	憲法研究は、現行日本国憲法の解釈論及びその実際の運用に関する調査研究にとどまるものではありません。この講義は、憲法について各自の視野を広げてもらうことを主なねらいとします。「問題意識」をもって受講してください。	